

防衛省政策会議 議事要旨

日時：平成22年2月26日（金）午前8時00～9時35分

場所：参議院議員会館 第1会議室

防衛省出席者：榛葉防衛副大臣、長島防衛大臣政務官、楠田防衛大臣政務官

議題：①ロードマップ合意に基づく在沖海兵隊のグアム移転について

②ハイチにおける自衛隊部隊のPKO活動について

③その他

楠田政務官の司会により進行。

1. 議題①について、米軍再編調整官から説明。議題②及びネパール国際平和協力業務の期間延長等について、国際協力課長から報告。その後、新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会について、島田内閣官房内閣参事官から報告。

2. 意見交換

【ロードマップ合意に基づく在沖海兵隊のグアム移転について】

○ 一部報道でアメリカから移転する海兵隊の移転費用について日本側が負担するという報道がなされたが事実関係はどうか。

(榛葉副大臣)

ロードマップ合意によると、沖縄の海兵隊員約8,000人がグアムに移転することになっており、この8,000人とその家族9,000人という数字を前提に、日本が海兵隊の宿舎建設の経費負担を行うことになる。ただし、実際に造った後、宿舎に入居する海兵隊員や家族が、沖縄ではない場所から来た者となることもあり得る。

○ フィネガヤン地区に建設される消防署やアプラ港に建設される診療所の設計費が高すぎると思われるが、具体的な設計費はいくらか。また入札は行っているか。

(米軍再編調整官)

設計費は平成21年度で約16億円である。4件中3件は一括して契約するので、個別の金額までは把握していない。他方、アプラの診療所は単独で設計を行っており、当該施設の設計費は約2億3,000万円である。設計費は入札で決めている。

○ 平成21年度及び平成22年度の事業について、落札業者は公開されてい

るのか。

(米軍再編調整官)

公開されている。

- アンダーセン空軍基地は普天間飛行場より広いと思われるが、規模はどのくらいか。

(米軍再編調整官)

アンダーセン空軍基地は嘉手納基地よりも広い基地であると言われている。

- グアムに建設される海兵隊の宿舎の間取りはどうなっているのか。

資料では、2008年度価格でというが、2010米会計年度と2011米会計年度で別々の為替レートを使用している理由は何か。

(米軍再編調整官)

家族住宅の間取りは階級毎に異なっており、一概には申し上げられない。

政府予算は毎年度「支出官レート」によって定められている。これを標準的な指標で割り戻して、2008年度価格を算出している。

【新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会について】

- 懇談会の委員は誰が決めたのか。新たな安全保障環境に精通した方が入っていないのではないか。

(内閣官房内閣参事官)

懇談会の委員の人選については、政務レベルで様々なご検討を頂いた上で、総理大臣がお決めになったもの。

- 民主党のマニフェストの実行と防衛大綱の見直しのプロセスの関係はどうか。

(榛葉副大臣)

我が国の安全保障や防衛力のあり方については、防衛省が一義的に関係する問題ではあるが、他方、防衛大綱の見直しは官邸で取りまとめることになっているので、ご理解いただきたい。

(内閣官房内閣参事官)

防衛大綱の見直しについては、懇談会の報告書を参考としつつ、年末までに安全保障会議及び閣議決定により政府としての結論を得ることになる。

- 懇談会の委員に、アジアに対する高い見識を持つ方をより多く入れるべきではないか。

(内閣官房内閣参事官)

懇談会の委員のうち、4名の方はアジア地域を研究対象とされている。

【防衛省政策会議のあり方について】

○ 防衛省は政策会議の開催にあたって工夫が足りないのではないか。

(榛葉副大臣)

至らぬ点については、今後改善のための努力をしてみたい。

(以上)